

科目名	担当者名	変更内容	
学部導入セミナー	村松・幕田	【授業計画】・日程	変更前 第15週 筆記試験および総まとめ 変更後 第15週 レポートおよび総まとめ
		【成績の評価】・方法	変更前 「ものづくり基礎力講座」のレポートを40点、製図課題提出と筆記試験成績を60点／合計100点満点 変更後 「ものづくり基礎力講座」のレポートを40点、製図課題提出とレポート成績を60点／合計100点満点
機械工学基礎 I	村松・村澤	【授業計画】・日程	変更前 第7週 中間テスト、第14週 期末テスト 変更後 第7週 レポート(1)、第14週 レポート(2)
		【成績の評価】・方法	変更前 複数回のレポート課題を20点分、二回の試験を80点分／合計100点満点 変更後 複数回のレポート課題を20点分、二回のレポートを80点分／合計100点満点
制御工学	村松	【授業計画】・日程	変更前 第15週 期末試験と総まとめ 変更後 第15週 期末レポートと総まとめ
		【成績の評価】・方法	変更前 演習・レポート20点満点、期末試験80点満点／合計100点満点 変更後 演習・レポート20点満点、期末レポート80点満点／合計100点満点
機械計測法	奥山	【授業計画】・日程	変更前 第5週 試験(1)と解説、第10週 試験(2)と解説、第15週 試験と解説 変更後 第5週 課題(1)と解説、第10週 課題(2)と解説、第15週 課題(3)と解説
		【成績の評価】・方法	変更前 レポート(30点)／試験(3回)(それぞれ30点、20点、20点)／合計100点満点 変更後 レポート(30点)／課題(3回)(それぞれ30点、20点、20点)／合計100点満点
材料科学	上原・久米	【授業計画】・授業の方法	変更前 主に指定したテキスト等に沿って、90分の講義を計15回行う。 変更後 Webclassで行う
		【授業計画】・日程	変更前 第8週 ここまでのまとめと中間試験 第15週 まとめと期末試験 変更後 第8週 中間レポートの提出期限および解説 第15週 期末レポートの提出期限および解説
工業数学	上原	【授業計画】・日程	変更前 筆記試験(中間試験と期末試験)の結果を80%、演習課題の提出状況などを20%として評価する。 変更後 レポートの評価を80%、演習課題の提出状況などを20%として評価する。
		【成績の評価】・方法	変更前 90分の講義を15回行う。教科書に基づいた講義形式の授業である。 変更後 Webclassで行う
材料システム学特論	上原	【授業計画】・授業の方法	変更前 第8週 ここまでのまとめと中間試験 第15週 最後の解説と期末試験 変更後 第8週 中間レポートの提出期限および解説 第15週 期末レポートの提出期限および解説
		【成績の評価】・方法	変更前 筆記試験(中間試験と期末試験)および演習問題の結果を総合し、100点満点中60点以上を合格とする。 変更後 レポート課題および演習問題の結果を総合し、100点満点中60点以上を合格とする。
基礎熱力学及び演習	赤松	【授業計画】	変更前 90分の講義を15回行う。教科書に基づいた講義形式の授業である。 変更後 Webclassで行う
		【成績の評価】	変更前 第8週 材料システムに関する筆記試験 第9週～第15週:材料系の計算機シミュレーション(理論、解説、プログラミング演習、および発表) 変更後 第8週 材料システムに関するレポート課題の提出と解説 第9週～第15週:材料系の計算機シミュレーション(理論、解説、プログラミング演習、およびプログラムリストとレポートの提出)
伝熱工学	赤松	【授業計画】	変更前 100点満点のうち、材料システムに関する筆記試験を50点、計算機シミュレーションに関する発表およびレポートを50点とし、合計点が60点以上を合格とする。 変更後 材料システムに関するレポート、プログラミング演習に関するレポート、およびその他の課題提出状況などを総合し、100点満点中60点以上を合格とする。
		【成績の評価】	変更前 第7回 中間試験及び解説、第15回 期末試験とまとめ 変更後 第7回 課題及び解説、第15回 課題とまとめ
機械工作実習	大町	【授業計画】	変更前 中間試験(30点)および期末試験(70点)を合計し、60点以上を合格とする。 変更後 レポート(13回×5点=65点)および課題(15+20=35点)を合計し、60点以上を合格とする。
		【成績の評価】	変更前 第7回 中間試験及び解説、第15回 期末試験とまとめ 変更後 第7回 課題及び解説、第15回 課題とまとめ
テクニカルイングリッシュ	大町	【授業計画】・授業の方法	変更前 事前に、安全管理および計測技術の基礎についての講義を含むガイダンスを実施するので必ず受けること。授業は各部門を2週ずつ7部門を実施する。実習内容は、機械工作の基礎に関する講義と実技実習から成る。各部門において実習後にレポートの提出を課す。 変更後 事前に、安全管理および計測技術の基礎についての講義を含むガイダンス資料をWebClassにて示すので、必ず読むこと。授業は全7部門を実施する。各部門において実習後にレポートの提出を課す。
		【学習の方法】・受講のあり方	変更前 1回180分の講義及び演習を15週にわたり行う(予備週を含む)。 変更後 1回180分の講義及び演習15週に相当する遠隔授業を実施する。 追加記載 今期は出欠確認しない。
設計工学	大町	【授業計画】・日程	変更前 各部門ごとに提出されたレポートの内容を60点分に評価する(学習・教育到達目標G)。各部門ごとの実習実技の取り組み内容を40点分に評価する(学習・教育到達目標C、D、I)。 変更後 各部門ごとに提出されたレポートの内容を100点分に評価する(学習・教育到達目標C、D、G、I)。
		【成績の評価】・基準	変更前 1回90分の授業を15週にわたり行う。少人数(5人から6人)の班に分かれて、各班がひとつのテーマの英文の文献を用いて学習する。授業の終盤で文献に関するプレゼンテーションおよびディスカッションを英語で行う。 変更後 1回90分15週に相当する授業を各テーマを担当する教員の指示に基づき実施する。少人数(5人から6人)の班に分かれて、各班がひとつのテーマの英文の文献を用いて学習する。
圧縮性流体工学	幕田	【授業計画】・授業の方法	変更前 各自の担当分に関する報告内容、プレゼンテーションおよびレポートを採点票に基づき評価する。 変更後 各自の担当分に関する報告内容およびレポートを採点票に基づき評価する。
		【成績の評価】・方法	変更前 実施した演習に関する報告、プレゼンテーションおよびレポートを総合して、採点票に基づいて100点満点で評価する。 変更後 実施した演習に関する報告 およびレポートを総合して、採点票に基づいて100点満点で評価する。
設計工学	大町	【授業計画】・日程	変更前 1回90分の講義および演習を15週にわたって実施する。15週には2回の筆記試験を含む。 変更後 1回90分の講義および演習 15週に相当する遠隔授業を実施する。報告書の提出で成績評価する。
		【成績の評価】・基準	変更前 第1週～第2週 軸の設計 第3週～6週 わじ 第7週 中間試験とその解説 第8週～第11週 歯車 第12週～14週 ころがり軸受け 第15週 期末試験とその解説 変更後 第1回、第2回 軸の設計 第3回～第6回 わじ 第7回～第10回 歯車 第11回～第13回 ころがり軸受け 以上の他に演習2回相当分を自習する。
設計工学	大町	【成績の評価】・方法	変更前 2回の試験を行い、以下の事項を総合して60%が達成されたことが確認できたとき、合格基準を満たすものとする。 変更後 複数回の報告書の提出について、以下の事項を総合して60%が達成されたことが確認できたとき、合格基準を満たすものとする。
		【成績の評価】・方法	変更前 中間および期末試験をそれぞれ50点分とし、総合して100点満点のうち60点以上を合格とする。 変更後 提出された複数回の報告書を総合して100点満点のうち60点以上を合格とする。